

[View this email in your browser](#)



4月19日（月）に慶應義塾ミュージアム・コモンズ(KeMCo)はグランド・オープンいたします。
今号ではグランド・オープン企画「交景：クロス・スケープ」最新情報や、センチュリー文化財団から寄贈された作品の移管についてなど、盛りだくさんの内容でお送りいたします。

KeMCoの近況

「人間交際」グランド・フィナーレ

好評につき会期を延長していたオンライン展覧会「Exhibition RoomX：人間交際」が、2月28日にグランド・フィナーレを迎えました。
RoomXのチームにとっては、ローンチ後に画像ビューアがまったく安定しなかったり、ユニコン像をモチーフにしたナビゲータ「ユニコン君（仮）」が意外な人気を得たり、思いうようにオンライン・イベントを開催できなかったりと、思い出深い展覧会となりました。RoomXは、いまメンテナンスのためにクローズしていますが、また4月以降、装いも新たにオープンする予定です。

「センチュリー赤尾コレクション」移管完了



2019年度から、センチュリー・ミュージアムや斯道文庫で作品の調査を重ね、準備を進めてきた作品の移管作業が、3月にいよいよ本番を迎えました。3月のはじめから、KeMCoの収蔵庫に作品が移送され、無事すべての作品が収蔵庫に収まりました。作品の一部は、4月のグランドオープン展でさっそく展示されます。
2月26日には、作品をご寄贈いただいたセンチュリー文化財団と慶應義塾との調印式も行われました。

グランド・オープン企画「クロス・スケープ」の準備が佳境に



2021年4月19日（月）から、KeMCoのグランド・オープン企画「交景：クロス・スケープ」が始まります。新しい建物での展覧会ということで、手探りなところも多く、展示の準備に、カタログの編集に走り回っています。展覧会は事前予約制。「慶應義塾カルチャーパス」というチケットをご用意しています。

会期：2021年4月19日（月）～6月18日（金） 10:00～18:00（休館日：土・日・祝）
場所：慶應義塾ミュージアム・コモンズ
※入口はキャンパス構内側ではなく、桜田通り沿い
対象：どなたでもご覧いただけます
費用：入場無料
事前予約制 / 展覧会の詳細・ご予約は下記リンクをご確認ください。

[グランド・オープン企画「クロス・スケープ」](#)

学生チーム「KeMCoM」始動

年明けから、KeMCo Studio/Oをベースに学生チーム「KeMCoM」が活躍しています！2月からは、グランド・オープンのデジタル企画を担当しているほか、KeMCoのあちこちを探検し、スタッフにインタビューした内容などをとくに、とても面白いnoteの記事を書いてくれています。
KeMCoMのSNSアカウントも開設されたので、是非フォローしてください！



慶應義塾カルチャーパス



2021年の春から初夏にかけて、三田キャンパスでは、3つの展覧会が同時に開催されます。アート・センターの「Artist Voice I: 河口龍夫 無呼吸」、ミュージアム・コモンズの「交景：クロス・スケープ」、三田メディアセンターの「(西洋) 文字獄 慶應義塾図書館所蔵西洋貴重書にみる書体と活字」です。
「慶應義塾カルチャーパス」は、3つのユニークな展覧会を1つの予約でお楽しみいただける共通予約パスです。この機会には是非、三田キャンパスの展覧会を巡ってみてください。

[慶應義塾カルチャーパス](#)

Open Storage! #04



美術品運搬の様子

センチュリーミュージアムより美術作品と、作品に付随する関連資料および蔵書の寄贈を受けました。

2021年3月2日から15日にかけて、移動した美術作品は旧寄託品を合わせて約1,100点。それらを安全に移送・配架するために、バーコードを添付した収蔵札を付して、作業の効率化を図りました。



オープンデボでの展示準備（大階段側からの様子）

この大規模な作品移動にあたって、オープン・デボが有効的に機能しました。オープンデボは2階収蔵庫の間に位置し、正面玄関の階段からガラス越しに内部の様子が見える。いわゆる荷解場かつ作品調査室、ビジブルストレージです。準収蔵庫として事務室等よりも一段階優れた温湿度管理機能を持ち、土足禁止としています。収蔵庫のように長期間の作品保管はしませんが、荷解き前の仮置きや海外輸送した作品のシーズニングなどに適しています。

実際に移送作業を開始してみると、収蔵庫にはむき出しの仏像等が徐々に配架され、収蔵庫内にゆとりがある空間とも振る舞いは制限されていきました。デボは扉1つ区切ることで、収蔵庫の緩衝空間として機能し、長期間にわたる作業を安心して行うことができました。これもまた、KeMCoのコンセプトでもある空き地的な空間と言えます。

松谷美美（KeMCo専任講師）

空き地

KeMCo構長 松田隆美

グランド・オープンまであと2週間ほどとなりました。
建物が目に入るようになってKeMCoの認知度も上がってきて、キャンパスで同僚と会うと、しばしば「ケムコ（まだ、なんとなく口元をほころばせながら、ためらいがちに発音する方は多いですが）」は順調ですか？」と声をかけていただけるようになりました。開館したら、この狭い空き地に気軽にきていただけるように、持込展示企画、ワークショップ型授業などいろいろと提案してゆくことが、所員としては重要だと感じています。学生、教職員が、空き時間に用もないのに来てしまう場所、常設展の仏像などと向き合っているとなくぼんやりする場所。昼食後にキャンパスに戻る前に一息つける中継点となって欲しいと願っています。設計時には、ミュージアムに相応しい空間の広がり確保するために天井の高さを数センチ単位で調整し、竣工後もいろいろと追加工事が必要でしたが、おかげさまで三田のちよとした異空間が出来上がりました。
まずは開館記念展示の期間中に一度お訪ねください。

お知らせ

KeMCo Voiceでは皆様のご意見・ご感想を募集しております

KeMCo Voiceやミュージアム・コモンズへご意見・ご感想がございましたら、以下のアドレスまでお寄せいただければ幸いです。
いただきますご意見は匿名でご紹介させていただく場合がございます。紹介をご希望でない場合はその旨をお書き添え下さい。

> [ご意見・ご感想はこちら](#)

次のKeMCo Voiceは2021年5月に配信予定です。
[過去のニュースメールはこちら](#)



Copyright © 2019-2021 慶應義塾ミュージアム・コモンズ Keio Museum Commons

〒108-8345 東京都港区三田2-15-45

Tel: 03-5427-2021 Fax: 03-5427-2022

[お問い合わせ](#)

[KeMCo Voiceの配信停止をご希望の方はこちら](#)

This email was sent from <<Email Address>>
[why did i get this?](#) [unsubscribe from this list](#) [update subscription preferences](#)

慶應義塾ミュージアム・コモンズ 2-15-45Minato-ku, Tokyo 108-8345, Japan

